

平成29年度（2017年度）事業報告

1. 全体評価まとめ

- (1) 東京ガスや日本環境協会等の外部組織と連携して、出前授業プログラムメニューの充実を図ったことにより依頼が増加し、17校44回実施、3,225人の参加実績となった。
- (2) おきがる環境講座のカリキュラムにある環境学習リーダー養成講座は、参加者少数のため3年連続で開催できなかった。
- (3) 「みどりのカーテン」事業では、新たにイオン葛西店におけるミニ講習会や、エコカンパニーへの周知などを行った結果、前年度の参加者数を上回った。
- (4) 「エコカンパニーえどがわ」登録事業所は、江戸川区斡旋融資制度との連携の効果もあり、今年度は新規会員の登録が53件となり、累計404件となった。登録事業所は全体として増加しており、併せてエコセンターへの入会も増加している。
- (5) 「新川を知ろう！体験教室」は、江戸川区や子ども未来館、和船の会との連携により夏休み期間中である8月に開催時期を変更したため、定員を上回る参加があった。
- (6) 葛西三枚洲地域のラムサール条約登録に向けて、国や都、区、関係団体との連携のもと、その実現に向け協議を重ねた。併せて葛西臨海公園でのウォーキング観察会の実施をはじめ、様々なシンポジウムへの参加やPR活動を行った。
- (7) 新中期計画にあたっては、策定委員会を設置し持続可能な地域社会を目指して、2018年度から5年間の計画を策定することができた。

2. 次年度へ向けた重点課題・対策

- (1) ESD、SDGsの理解を深めていくため、時代に即した魅力的なプログラムメニューを検討していく。(※ESD 持続可能な開発のための教育 ※SDGs 持続可能な開発のための17の目標)
- (2) エコセンターは新たな中期計画のもと、持続可能な地域社会づくりを目指すことを踏まえ、省エネ・3R・自然保護等を実践指導できる人材の育成に取り組んでいく。
- (3) 「みどりのカーテン」モニターのさらなる普及に向けて、個人だけでなくエコカンパニーや学校等の団体参加を促すため、周知や講習時間の工夫を行い、団体参加数の増加を目指していく。
- (4) 江戸川区の食品ロス削減を目的としたフードドライブ事業を、江戸川区と連携しながら、各地域まつり・イベントなどで実施していく。
- (5) エコセンターへの世代を超えた参加者の拡大に向け、活動団体を紹介したチラシの作成やキャラクターのリニューアル、大学との連携等様々なアプローチを行っていく。
- (6) 「エコカンパニーえどがわ」登録事業所において、環境経営活動がさらに充実するよう、助成制度の紹介や技術情報など、企業向け情報の発信に努めていく。
- (7) 新たな中期計画を実施していくにあたり、理事会や常任委員会、事務局が連携し、「活動基盤の整備」や「円滑な事業運営の推進」、「情報発信の充実」を行っていく。
- (8) 今年度、葛西三枚洲地域のラムサール条約登録を見据え、都や区、関係団体との連携のもと、登録後の区民への情報発信や子どもたちへの環境教育プログラムの検討を行っていく。

3. 事業評価

活動項目		H28年度	H29年度	増減
事業	事業数(件)	258	255	△3
	参加者数(人)	20,795	20,419	△376
会員等	会員数(個人・団体)	374	449	75
	もったいない運動参加者数(※累計人数)	118,547	125,984	7,437
財務	区補助金実績(千円)	45,627	46,386	759
	民間等助成金実績(千円)	1,904	1,994	90

4. 科目別事業評価

活動項目	事業数(件)	参加者数(人)
(1) 環境教育・環境学習の推進事業	70	4,112
(2) 人材育成事業	11	345
(3) 区民・事業者・行政との交流・連携推進事業	144	14,390
(4) 情報の提供及び支援事業	3	941
(5) 自然環境の保全と活用	27	631
計	255	20,419

(1) 環境教育・環境学習の推進事業

○結果・評価

- ① グリーンプラン推進校参加校にアンケートを実施した結果、全参加校が「また参加したい」「引き続き環境の取り組みをすすめていきたい」と回答しており、グリーンプラン推進校への参加が環境学習に取り組むきっかけとなっている。
- ② 平成27年度からグリーンプラン推進校へ、出前授業プログラムの活用を呼びかけてきたことにより、出前授業の実績が安定して得られるとともに、報告書の内容が充実してきている。
- ③ 東京ガスや日本環境協会等の外部組織と連携して、プログラムメニューの充実を図ったことにより、出前授業の年間実績数は17校44回、参加児童・生徒数延3,225名に増加した。
- ④ 自然環境教育の担い手不足解消のため、実施経験のある教員OBを発掘し、2校で出前授業を実施した。
- ⑤ すくすくスクール放課後環境教育は、江戸川区との連携が進み、エリアごとに日程調整や従事者の役割分担が定着するなど、事業を円滑に取り組むことができた。

○次年度への課題・対策

- ① グリーンプラン推進校のさらなる活動充実を図るため、アンケート等で得られた学校の要望について検討する等、互いにより有意義な協働となるよう努めていく。
- ② ESD教育支援のため教員同士の交流会の設置を検討していく。
- ③ エコセンターと学校教員との協働で新たに企画、実施した出前授業を、オリジナルプログラムメニューとして追加する。
- ④ ESD、SDGsの理解を深めていくため、時代に即した魅力的なプログラムメニューを検討していく。

- ⑤すくすくスクール放課後環境教育は、エコセンターが地域に根付いていけるよう、実践を通して（OJT）スタッフの継続的な育成を進めていく。

(1-1) 学校等環境学習支援

項 目	計 画	実 績
環境学習支援（グリーンプラン推進校）	11 校	11 校（累計 122 校） （説明会・報告会 1 回/22 人）
出前授業の実施（総合学習）	35 回/2,500 人	17 校 44 回/3,225 人
すくすくスクール放課後環境教育	20 回/800 人	26 回/887 人

(2) 人材育成事業

○結 果・評 価

- ①おきがる環境講座のカリキュラムにある環境学習リーダー養成講座は、これまでに 154 名が修了し、修了生の中からは小中学校の出前授業の講師やおきがる環境講座の企画運営などで活躍する者も出てきており、リーダー養成講座としての一定の目的は達成できた。
- ②環境学習リーダー養成講座は参加者少数のため、3 年連続で開催できなかった。
- ③環境講演会（中村征夫氏）のアンケート結果から、80%の参加者が内容について、「大変満足」または「満足」と回答しており、生物多様性についての関心が高いことが分かった。
- ④町会・自治会など地域からの、もったいない講座・講習会の依頼が減少傾向にある。

○次年度への課題・対策

- ①エコセンターは新たな中期計画で、持続可能な地域社会づくりを目指すことを踏まえ、環境学習リーダー養成講座に代えて、省エネ・3R・自然保護等を実践指導できる人材の育成に取り組んでいく。
- ②環境講演会は、ラムサール条約や生物多様性保全など区民の関心に沿った内容に進めていく。
- ③環境をよくする地区協議会や図書館など、地域における出前講座のPRを積極的に進めていく。

(2-1) 環境学習リーダー養成講座

項 目	計 画	実 績
おきがる環境講座	14 回/300 人	10 回/255 人

(2-2) 講演会

項 目	計 画	実 績
環境講演会	1 回/140 人	1 回/90 人

(2-3) 地域活動支援

項 目	計 画	実 績
もったいない講座（出張講座）	実施	—

(3) 区民・事業者・行政との交流・連携推進事業

○結果・評価

- ①イオン葛西店やまいぷれ江戸川区（地域情報誌）等、民間企業主催のイベントに新たに参加し「もったいない運動」のPRを行う事ができた。
- ②「みどりのカーテン」モニター講習会について、エコカンパニーへの周知や情報紙「エコちゃんねる」の掲載等により、前年度よりも参加者を増やすことができた。
- ③平成25年度から始まったマイバッグキャンペーンは、平成29年度の区民世論調査によると、その持参率が60.6%となり、区民の間に着実な広がりを見せている。その一方で、若者の持参率は伸び悩んでいる。
- ④プラスチック海洋汚染に関する講演会は、一般区民の関心が低いことから、継続的に行っていくことが必要と思われる。
- ⑤食品ロス削減を目的に、家庭での未利用食品の有効活用を行う「フードドライブ」事業を東部地域祭で試験的に実施し、96点29.52kgが集まった。
- ⑥「エコカンパニーえどがわ」登録事業所に向けた講演会や研修会の充実を図った結果、みどりのカーテン講習会や会員向け研修会等での「エコカンパニーえどがわ」登録事業所の参加が増加した。

○次年度への課題・対策

- ①「もったいない運動」をより身近に感じてもらえるように、エコセンターキャラクターのリニューアルにより、区民への普及啓発を行っていく。
- ②「みどりのカーテン」モニター講習会について、個人だけでなく企業や学校等の参加を増やしていくため、夜間の時間帯で講習会を行う等、裾野を広げていく。
- ③食品ロス削減を推進していくため、江戸川区と連携して「フードドライブ」事業を区内各地域まつりで実施していく。
- ④平成29年に実施された区民世論調査によると、若者や男性のマイバッグ持参率が低い傾向にあったことから、若者や男性をターゲットにした「マイバッグキャンペーン」を展開していく。
- ⑤プラスチック海洋汚染の実態や3Rの大切さについて区民向け講演会を引き続き実施していく。
- ⑥「エコカンパニーえどがわ」登録事業所に対するアンケートを実施し、登録事業所の実態把握を行うことにより、「エコカンパニーえどがわ」制度のさらなる充実につなげていく。

(3-1) もったいない運動えどがわの推進

項 目	計 画	実 績
もったいない運動登録者の拡大	126,000人	125,984人
環境フェア	5,000人	5,000人
地域イベントへの参加	14回/7,000人	13回/6,395人
もりあげ隊（ボランティア参加者数）	実施	実施

(3-2) 省エネ・新エネルギーの推進

項 目	計 画	実 績
省エネナビ貸出 家庭の省エネ診断	2回/100人	説明会4回/10人
環境に配慮したエコライフ講座、 講習会等の開催	16回/280人	16回/276人 (エコ・クッキング 6回/86人)

項 目	計 画	実 績
「みどりのカーテン」の普及啓発	16回/449人	講習会等 15回/363人 交流会 1回/16人 環境フェア 84人
キャンドルナイト（スタンド作り）	実施	1回/6人

(3-3) 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

項 目	計 画	実 績
マイバッグキャンペーン	春・秋2期	春・秋2期
3Rに関する講座・講習会等の開催	70回/1,200人	69回/1,137人
エコセンターおもちゃの病院	12回/300人	12回/292人

(3-4) 事業者の取り組み推進・支援

項 目	計 画	実 績
エコカンパニーえどがわ登録事業者の拡大	60件	53件（累計404件）
エコカンパニーえどがわ普及啓発講座	1回/100人	1回/90人
ece登録事業者への省エネルギー相談	実施	実施

(3-5) 商店（街・会）やスーパーのエコ活動支援

項 目	計 画	実 績
商店街主催イベントへの支援	2回/200人	1回/100人

(3-6) イベント等への参加

項 目	計 画	実 績
産業ときめきフェア	200人	2日/200人
エコプロダクツ2017	—	3日/450人

(3-7) チャレンジ・ザ・ドリーム（中学生職場体験）

項 目	計 画	実 績
チャレンジ・ザ・ドリーム （中学生職場体験）	実施	4校/15人

(4) 情報の提供及び支援事業

○結 果・評 価

- ①フェイスブックやブログ等のきめ細かな更新を心掛け、タイムリーに情報発信を行うことができた。
- ②情報紙「エコちゃんねる」について、江戸川区と連携することにより、区民世論調査の結果や区の取り組みを掲載する等、内容を充実することができた。
- ③個人会員の増加に向けて、案内チラシを区内地域まつりで配付する等PRを行った。また大学と連携し、学生を事業に参加させる等、若者の参加を促すきっかけづくりができた。

○次年度への課題・対策

- ①ホームページ等について、イベント情報以外にも環境に関する様々な情報やエコセンターの取り組み等を、随時発信する体制にしていく。
- ②情報紙「エコちゃんねる」の内容について、江戸川区や会員団体・企業等と連携し、エコセンターの事業紹介だけでなく、環境に関する様々な情報の発信を行っていく。
- ③個人会員や活動団体の参加者を増やしていくため、活動団体を紹介したチラシにより、区内各地域まつり等で配付しPRを実施していく。
- ④若者の参加を促すため、大学生にエコセンターの事業へ参加してもらおう等、大学との連携を強化していく。

(4-1) 情報の発信と提供

項 目	計 画	実 績
情報紙「エコちゃんねる」の発行	4回	42,44号 各2,000部 43,45号 各3,000部
ホームページの運営管理	実施	実施
リーフレットの作成 (新中川の生き物図鑑)	実施	10,000部
多目的ルームの活用	実施	実施

(4-2) 他団体との連携・活動支援

項 目	計 画	実 績
江戸川総合人生大学への講師派遣	実施	実施
公園フェスティバル	400人	905人
日本環境教育フォーラム等と連携	実施	実施

(4-3) 相談業務事業

項 目	計 画	実 績
会員等からの団体運営や事業等の相談	実施	実施

(4-4) 会員の拡大

項 目	計 画	実 績
会員向けの講演会・交流会の実施	実施	バス見学会 1回/36人
あらゆる機会を捉えたPR	実施	実施

(5) 自然環境の保全と活用

○結 果・評 価

- ①水辺環境調査は、天候影響等を考え、予備日を含めた周到な計画を行ったことにより、全ての調査を予定通り行うことができた。
- ②第3弾となる「新中川生き物図鑑」は、新中川に架かる橋を紹介するなど、前2作とは趣向を変え作成した。なお、生き物図鑑シリーズは、好評により3河川全て増刷を行った。
- ③2回目の開催となる「新川を知ろう！体験教室」では、江戸川区や和船の会との連携のもと、8月開催としたことにより定員を上回る参加があったが、想定以上に暑さが厳しかった。

- ④葛西「三枚洲」のラムサール条約登録を目指して、関係機関、関係団体、地域との連携を強化し、併せて臨海公園での自然観察会等を通じてPR活動を行った。

○次年度への課題・対策

- ①水辺環境調査では、調査員の高齢化が進んでいることから、後進の育成・確保に努めていく。
- ②第4弾となる「葛西東なぎさ生き物図鑑」は、江戸川区が策定予定の葛西沖開発記録や、ラムサール条約登録の進捗状況を踏まえ、作成の準備を進めていく。
- ③8月開催の「新川を知ろう！体験教室」は、和船乗船時の給水対策や、生き物観察は屋内で実施するなど、万全な暑さ対策を行っていく。
- ④葛西「三枚洲」のラムサール条約の登録は、ラムサール条約締約国会議（COP13/2018.10）での登録を目指して、引き続き関係機関、関係団体、地域との連携を強化し、活動を行っていく。併せて、区民への情報発信や子ども達への環境教育を充実していく。

(5-1) 水辺環境調査

項 目	計 画	実 績
新中川、江戸川・旧江戸川、荒川、葛西沖の水辺環境調査（受託事業）	植物3回/鳥類3回/ 魚類・底生動物1回/ 船上調査（植物・鳥類・ 魚類・底生動物）1回	植物3回/鳥類3回/ 魚類・底生動物1回/ 船上調査（植物・鳥類・ 魚類・底生動物）1回

(5-2) 自然復元・再生事業

項 目	計 画	実 績
河川や海岸のクリーン作戦を通じた自然環境の復元を進める	150人	2回/65人
絶滅種や生物多様性に関する啓発を進める（ムジナモ・ビオトープ）	100人	5回/76人

(5-3) 自然観察会・えどがわ自然学校

項 目	計 画	実 績
えどがわ自然学校や自然観察会等を通じ、自然に触れる	450人	12回/325人
一之江境川親水公園自然観察会	120人	116人
自然活動用啓発冊子、安全に関わる情報提供	実施	新中川生き物図鑑 10,000部

(5-4) ラムサール条約

項 目	計 画	実 績
葛西三枚洲地域のラムサール条約登録	-	環境省・東京都・江戸川区・野鳥の会等との連携 葛西臨海公園での自然観察会